

なかの 市議会だより

5月号

2025年(令和7年)
5月5日発行
No.80

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会

●ホームページ <https://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp



●市政一般質問	陳情	請願	意見書案	人事案	事件案	予算案	条例案	●議案等件数及び議決内容	会期	閉会	開会	
36件	1件 採択	1件 不採択	2件 可決	1件 適任	5件 同意	6件 可決	14件 可決	1件 承認	19件 可決	20日間	3月17日	2月26日

3月定例会



阿部 光則



学校給食センター新設統合等について

質問 学校給食センター建設時から経過と新設統合する理由は。

答弁 学校給食センターは建設後、北部は19年、南部は18年経過している。令和3年度策定の中野市個別施設計画で両センターとも施設の劣化状況などから改修を必要としていた。両調理場において天井や壁に汚れやカビがあり、床の剥がれやびび割れなど、保健所からの指導もある。機器や設備も修理では対応しきれないことが想定され、早い時期に新設統合が適切であるとの考えに至った。

質問 公共施設等総合管理計画に基づいて事業を進めているが、市民に十分な説明をし、意見を聞きながら進めることが重要と考えるがどうか。
答弁 2月の議会全員協議会で学校給食センターの新設統合についての方針を説明した。今議会で複数の議員から一般質問をいただいております。議会で説明することが市民への説明につながるものと考えている。

下水道事業について

質問 下水道使用料の値上げが本年10月1日から予定されている。財務状況は純利益が継続して出ているが、値上げに至った理由はどうか。
答弁 今後10年間の財政推計では、人口減少や節水意識の高まりで使用料収入の減収が見込まれる一方で、施設修繕や更新などの経費は増える見込みである。下水道事業の円滑な運営を維持するために受益者負担の原則に従い値上げをするものである。

質問 物価高騰が続く状況で、約10%の料金の値上げは、市民生活に大きな影響が懸念される。値上げを遅らせてはどうか。
答弁 返済しなければならぬ企業債もあり、余裕がある状態ではない。先送りすることで、短期間で急激な値上げをすることになり、また、返済や有事の際に対応する財源等を踏まえ改定をするものである。

職員のワークライフバランスについて

質問 新規採用者と退職者および早期退職者の実態はどうか。
答弁 新規採用者は9人、今年度における退職者が25人である。

質問 全体的に職員が減って行くと感じるが、市民サービスの面で問題は無いのか。
答弁 人数的には減るが、行政改革やDX化も進めている。若干の減少でも業務に支障ないように進める。

質問 経年劣化が新設統合の理由だが、ここ数年大きな修繕はしていないようだ。また、南部学校給食センターは建物ごと売却の方針で、建物は工場等には使えないとの説明だった。
答弁 建物が劣化して使えないという点ではなく、施設、設備の劣化が著しいということである。

体育施設使用料の減免見直しについて

質問 高等学校の部活での体育施設使用料減免見直しの内容と理由は。
答弁 これまで全額減免してきた施設、照明、備品など全ての使用料を、本年4月からは減免しないこととする。高校の部活動は、原則、学校内の施設を使用するものであることから、市の施設を使用する場合は受益者負担の考えのもと、応分の負担をしていただく。

質問 これまでの減免額は。
答弁 昨年度実績で185万円余である。
質問 見直しの対象者への説明は。
答弁 昨年7月以降、複数回、減免申請者である学校職員に伝えている。
質問 9月末の「お出かけ市長室」で生徒の訴えを受け、10月からの減免廃止を一旦止めた際、一方的に減免廃止といったことはしないとの説明があった。今、学校側は減免廃止と言われて困っている。もう一度話をしてもらえないか。
答弁 学校側には市の方針を説明しており、方針どおり進めて行く。

学校給食センター新設統合について



松樹 純子



質問 経年劣化が新設統合の理由だが、ここ数年大きな修繕はしていないようだ。また、南部学校給食センターは建物ごと売却の方針で、建物は工場等には使えないとの説明だった。
答弁 建物が劣化して使えないという点ではなく、施設、設備の劣化が著しいということである。

質問 建物を大規模改修して、設備等を入れ替える選択肢もあったと思うが、30億円もの資金を要する新設統合が、本当に市民のためというなら、納得できるように市民に説明してほしい。
答弁 市民が使う市庁舎や市民会館などについては、市民の意見を聞く必要があるかもしれないが、給食センターは、子どもに安全で安心な給食を提供する施設である。議会全員協議会で議員に説明し、また、テレビカメラも入り、傍聴者もいる議場で、市民の代表者である議員に議会で説明することが、一番の筋だと思っている。

子育て支援拠点施設ハブリックについて

質問 来年度、指定管理者の自主事業としてインターナショナルスクールの小学部を開校すると聞いた。今後の指定管理者選定に影響がないか。
答弁 市の指針に沿って選定する。



中村 秀人

市立小中学校の適正規模等基本方針の改訂について

質問 基本方針改訂の経過は。

答弁 日野小は令和8年度、延徳小は令和12年度以降、児童数が一桁の学年が複数見込まれる状況である。平成28年当時の想定より少子化が急速に進んでおり、基本方針と実態が乖離している状況を踏まえ、改めて検討を行い、改訂することとした。

質問 改訂のポイントは。

答弁 今後の具体的な取り組みに、「適正規模を満たさない、またはその見込みがある学校においては、必要に応じ市教育委員会と保護者において懇談の場を設け協議をする。その保護者の総意を地域が尊重し、より良い教育環境の整備について、地域としての方針を市教育委員会に要望されることが望ましい」を付け加えることとした。

質問 日野小、延徳小の保護者との懇談、協議の具体的なスケジュールと懇談結果の方針改訂への反映は。

答弁 本年4月以降に保護者、児童等との懇談、アンケートを行い、11月頃に4中学校単位の説明会を開催し、来年1月頃に改訂したいと考え

ている。また改訂案において「早期に教育環境の検討を行う必要がある」とした日野小、延徳小についても同様のスケジュールで進め、いただいた意見等について協議し、基本方針の改訂に反映させていく。

質問 県のウェルビーイング実践校TOCCO-TONへの応募の背景と適正規模等基本方針改訂との関連は。

答弁 学校内にある慣習や従来の方針を、時代に合わせ柔軟に見直す取り組みに共感し応募したものである。今回の改訂案では、「国や県と協調しながら特色ある教育活動を実践する小・中学校は、指定校変更の弾力性のある運用を検討」としている。

質問 改定案の要点は、統合あるいは小規模でも場合により弾力ある運用を検討するとの両面を持つが、懇談後の保護者の総意を教育委員会に要望して決定していくということか。

答弁 特に地域の皆さんの意見を聞いて、地域としてどう考えるかを教育委員会として受け止めて、これからの取り組みを決めていきたい。

(注) ウェルビーイング実践校

TOCCO-TON(トントン)

長野県教育委員会が検討を進めてきた「一人ひとりに合った学び実践校」の正式名称で、全ての子どもが、「好き」や「楽しい」、「なぜ」をどんどん追求するために、自ら学び方等を選択でき、自己実現できる学校創りに取り組むモデル校のこと。



松野 繁男

令和7年度の事業について

質問 美術館建設事業の概要は。

答弁 令和7年度に設計、8年度に工事、しゅん工を予定。建設場所は、市有地の中から検討している。郷土の作家や市にゆかりのある作家の作品を中心に展示し、市の魅力発信とくつろぎの場などを提供したい。

学校給食センター新設統合について

質問 現給食センターは築20年未満と比較的新しい。現地改修で十分と声が多い。改修が適さない理由は。

答弁 長期にわたる給食停止や施設や厨房機器の更新費用が必要となるほか、改修後10年から15年程度で建て替えが必要となるため、改修は適さないと考えている。

新設されるこども園の開園時期延期について

質問 2月末での出来高と新園舎での開園が早まる可能性はどうか。

答弁 平野さつきこども園は79・1%、高丘は54・5%である。現時点では予定どおり平野が6月、高丘が

7月に開園予定である。

信州中野アーチェリーセンターについて

質問 アーチェリーの的となるボードが野ざらしであった。市の対応は。

答弁 屋外用の的であるため問題はないが、必要に応じシートをかぶせるなど指定管理者に指示する。

農業における雪害について

質問 昨年末の大雪によるブドウ棚の倒壊等への対応は。

答弁 関係者とともに棚上げや除雪等の復旧作業を行った。資材購入費等の支援は、今議会に補正予算を提出している。

子どもに対する見守りや声かけについて

質問 犯罪等に巻き込まれることを防ぐため、子どものSNS使用を制限してはどうか。

答弁 保護者が児童・生徒と話し合う中で制限について考えることが大切で、教育委員会として制限をする考えはない。

その他の質問

・中野市立小学校及び中学校適正規模基本方針について
ほか3項目



土屋 博



障がい者や高齢者の支援について

質問 降雪時、障がい者や高齢者にとって、玄関先の雪を片付けて通路などを確保することが重要な問題となるが、現在の支援の状況は。

答弁 除排雪の支援については、家屋の倒壊、損傷防止と外出支援のため、対象世帯の所得や障がいの程度、世帯構成の要件により、屋根の雪下ろし費用と玄関から道路までの除雪費用の一部を助成している。また、中野市社会福祉協議会の有償ボランティア「地域お助け隊」により、除雪が困難な障がい者や高齢者を対象に雪かき支援が行われている。

質問 介護支援専門員（ケアマネジャー）との意見交換の場で、「除雪ができず、家から出られないため、デイサービスを休む」という事例を聞いた。冬期間の生活全般に不安のある障がい者や高齢者が、一時的に空き家や市営住宅などを活用し、降雪時の不安を感じないで生活できる場所を設ける考えは。

答弁 冬期間の居住支援については、障がい者や高齢者のニーズを把握した上で、近隣の市町村の事例を参考に研究していく。



笠原 豊



带状疱疹ワクチン接種について

質問 定期接種の内容は。

答弁 本年4月1日から接種可能となるよう調整している。65歳の方、60歳以上65歳未満の方で特定の基礎疾患を有する方、65歳を超える方については、5歳年齢ごとの方を対象とする。令和7年度に限り100歳以上の方は全てを対象とする。対象人数は約2千600人で、自己負担額は、生ワクチンが2千400円、不活化ワクチン1回分が6千400円の予定である。

質問 対象者への周知と接種手順は。

答弁 対象者あてに勧奨はがきを送付する。医療機関に予約の連絡をし、医療機関設置の予約票に記入して、医師の問診を受けたうえで接種という流れで検討している。

GIGAスクール用タブレット端末の更新について

質問 令和7年度のタブレット端末の更新計画は。

答弁 児童・生徒用に加え教師用と予備を含め3千550台を購入する計画である。

質問 更新後の旧端末の取り扱いは。

答弁 法律の規定に基づき、製造業者に下取りを依頼する。

質問 更新に際してのデータ消去に対する認識と取り組みは。

答弁 専用システムによりデータ消去を行った上で処分する。

学校体育館の冷暖房空調整備の推進について

質問 今後の整備の考えは。

答弁 学校現場の状況や意見を参考に、スポット型設備を含め、計画的に冷暖房設備の設置を検討する。

質問 国の予算の活用はどうか。

答弁 国・県の動向や活用できる補助金等の状況を注視し、優先順位をつけて、今後も検討する。

公文書管理について

質問 公文書管理条例の制定と公文書館の設置はどうか。

答弁 まずは適正な公文書の管理を行うとともに、引き続きさまざまな観点から調査研究を行っていく。

道路の陥没対策について

質問 下水道管の緊急点検は。

答弁 コンクリート製の下水道管が埋設された幹線を対象とし、マンホール内や蓋、土砂の堆積状況を目視で確認している。異常が確認された管路等は早急に修繕したい。

議会インターネット録画中継

市議会では、本会議のインターネット録画中継を行っています。
インターネット録画中継は、パソコンのほかタブレットやスマートフォンでいつでも本会議の様子を視聴することができます。是非、ご覧ください。

視聴方法

中野市議会ホームページから「中野市議会議中継」にアクセス

各議員の顔写真の下の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取るとその議員の一般質問の動画を視聴することができます。



中野市議会HP



外国人との地域社会づくりについて

渡辺 菊男



質問 外国人の困りごとや相談への対応方法は。また、生活上のルールや医療などの情報の周知や支援は。

答弁 人権・男女共同参画課が相談窓口となっている。県多文化共生相談センターの多言語通訳による電話相談も案内している。市公式ホームページでは、多言語翻訳機能を備えた「くらしと防災ガイドブック」やごみカレンダーを掲載し、相談窓口でも必要な情報を提供している。

質問 行政とのコミュニケーションの深化は。

答弁 昨年10月に法律や生活の困り事に関する相談会を、12月には多文化共生に関する講演会を開催した。

質問 安心して生活できる社会づくりや共生社会の基盤整備に向けた取り組みは。

答弁 多文化共生社会に向けた意識の醸成や外国人の地域社会への参画を進めるとともに、国の動向や先進事例も参考にしていく。

高齢者の居場所づくりについて

質問 高齢者地域サロンなどの実

回数と参加者数は。

答弁 令和5年度は、226回で、延べ4千730人。6年度の見込みは、316回で、延べ6千358人である。

質問 介護予防教室の分析と評価の効果的活用は。

答弁 参加者にアンケートを実施し、ニーズを次年度に反映させている。

質問 高齢者の支援方法と安心して落ち着ける居場所づくりの考えは。

答弁 男性が参加しやすい集いの場の立ち上げを支援し、住み慣れた地域で安心して過ごせる居場所を増やしていきたい。

個人所有の文化財等の滅失や散逸防止について

質問 個人が所有する遺産、芸術品などの保護保管は。また未指定の文化財等の支援や相談窓口はどうか。

答弁 中野市文化財保護条例に従い、必要な措置を講じている。未指定のものについては、相談は受け付けているが、所有者の権利を尊重し相談がない限り対応はしていない。

質問 文化財などの確実な維持・継承に向けての取り組みが必要では。

答弁 保存や活用のために文化財の指定をし、修理や環境整備などの経費の一部を補助している。

質問 観光資源としての活用は。

答弁 文化財を巡る観光イベントのほか、歴史のまち歩きコースを紹介するなど活用に努めている。



令和7年度予算について

高木 尚史



質問 学校給食センター新設統合の理由と財政計画はどうか。

答弁 経年劣化による施設の整備や厨房機器等の更新が必要であり、炊飯設備の設置などを考えている。建設の概算事業費は総額約30億円と想定している。

質問 公共施設最適化計画では計画的に修繕を行い、長寿命化を図るとなっていたが、新設統合に至る経緯はどうか。

答弁 経年劣化により厨房機器が壊れてしまったときは施設全体の稼働が難しくなるため、施設更新より新設が効果的と判断した。

質問 給食センター運営委員会で新設統合について了承されたとされているが、会議の経緯について公表されていない。市民への情報提供がされているのか。

答弁 運営委員会での議事録の公開は準備中で、近々公開する。

質問 国の小学生給食費無償化による交付金などを、センター長寿命化のため維持修繕の財源に充当しては。

答弁 一つの考え方と思うが新設統合について変更は考えていない。

今後の財政運営について

質問 岳南消防本部と中野消防庁舎建設に係る建設計画と市の財政負担はどうか。

答弁 建設計画は現庁舎が建設後約30年を経過し老朽化が著しいことを踏まえ、令和7年度に基本設計、8年度に実施設計と用地取得、造成等9年度に工事を開始し、11年度に供用開始を予定している。全体事業費は56億6千万円を見込み、分担金は市が約49億6千万円である。

質問 過去における大型事業の公債費、いわゆる借金の償還状況と基金いわゆる貯金の見直しはどうか。

答弁 市庁舎建設には、約30億4千万円、市民会館リノベーション事業に約24億7百万円の市債を借り入れ償還スケジュールに沿って償還している。近年の市債残高は190億円程度、基金残高は100億円程度である。

質問 今後、市債の金利上昇やふるさと寄附金の動向は不確定要素があり、財政運営の方針はどうか。

答弁 基金や起債の残高などのほか、やらなければならぬ事業等検討しながら進めていきたい。

質問 市公式ホームページで予算や決算状況を公開しているが、市民に財政状況を知ってもらうために財政用語などの解説を伝えてはどうか。

答弁 市民の皆さんに分かりやすいように検討していきたい。

各種募金について



塚田 一夫

たな募金方法について、実施主体と担当課で協議していく。

区長連合について

質問 認可地縁団体のメリットとデメリットについてはどうか。

質問 募金の依頼は市から各区に対し、どのように行われているのか。

答弁 各募金とも、実施主体から依頼を受け、取りまとめている担当課から各区に依頼をしている。

質問 各区に対し、募金目的の趣旨を十分説明されているとの認識か。

答弁 募金を依頼する文書に、募金の目的等を記載していることから、理解を得ているものと考えている。

質問 目標金額について、実施主体からはどのように依頼があるのか。

答弁 一世帯または一口の目安となる金額の提示はあるが、総額についての依頼はない。

質問 区等から募金の負担感や圧力を感じるなどの声は届いていないか。

答弁 個人の相談において、募金に対して負担感を訴える声は時々寄せられているが、区からの報告はない。

質問 個人の意思に反する募金の集め方や負担感を感じる世帯があることから、各世帯の目標金額や募金方法を検討してもらおうよう、実施主体団体等へ要請できないか。

答弁 区等から要望があった場合は、新市として外部団体へ要望を伝え、新

質問 認可地縁団体のメリットとデメリットについてはどうか。

答弁 メリットは、団体名義で不動産登記ができ、相続の際の所有権をめぐるトラブルを未然に防げることや土地が区等の名義になっていることが補助要件の一つになっている補助金もあり、補助金の活用範囲が広がる可能性がある。デメリットは特段ないが、認可を受けるには一定の事務手続きが必要であり、状況によっては申請にあたって支障となる。

質問 認可地縁団体への移行状況と市の取り組みはどうか。

答弁 市内76の区等のうち、35団体が認可を受けている。市では団体設立や認可後の手続きなど、具体的なノウハウについて紹介している。

質問 中野地区区長会の事務局移管についての経緯は。

答弁 第4次中野市行政改革集中改革プランの団体事務見直しの方針に沿って進めているものの一つである。地区区長会の事務を各地区で行っていたべく方針である。

質問 中野地区の区長会長の負担が大きくなるため、該当区の役員選出がさらに難しくなると危惧するが。

答弁 市区長会で、中野地区区長会の負担軽減を協議していただく。

職員について



中村 明文

質問 今年度末の退職予定者数と新規採用者数は。

答弁 令和6年度末の退職予定者数は、年度途中の退職者数も含め25人、令和7年度の新規採用者数は9人である。

質問 職員給与について、令和6年のラスパイレース指数が96・1で県内19市中最下位となった要因は。

答弁 経験年数は満たしているが、管理監督職などでないことから、上位の級に該当しない職員が一定数いることが考えられる。

質問 ラスパイレース指数の改善は。

答弁 国の人事院勧告を尊重し、適正な職員の給与水準の確保に努める。

質問 給与改善のため、俸給表の級俸追加の考えは。

答弁 考えていない。

質問 令和6年の職員の年次有給休暇取得日数は。

答弁 一人当たり14・0日である。

市の財政について

質問 令和7年度からの大型事業の財源充当の見通しは。

答弁 美術館や学校給食センターには、一般財源のほか国の交付金および市債、また岳南広域消防本部等の建設に係る分担金には、市債の活用を予定している。

質問 令和6年度の歳入決算見通しは。

答弁 市税では、66億2千400万円余の歳入を見込み、昨年度決算と比較して4億3千万円余の減を見込んでいる。

質問 ふるさと寄附金の歳入決算見通しは。

答弁 決算では、21億円程度になると見込んでいる。

まちなかの活性化について

質問 信州中野駅周辺の活性化のための財政支援は。

答弁 中野市空き店舗活用チャレンジ等支援事業補助金により、創業される方に、改修費や家賃に係る補助金を交付している。

質問 中野陣屋前広場公園の利活用について、イベント等への財政支援は。

答弁 一定数以上の集客が見込めるイベントやマルシェの開催に補助金を交付している。

(注) ラスパイレース指数

行政職国家公務員の賃金水準を100として、地方自治体行政職職員の賃金水準を表す数値



木村 芳隆

小学校及び中学校適正規模等基
本方針について

質問 適正規模の基本的な考え方は。
答弁 適正規模の基本的な考え方については集団のルールを学び、個性や能力の伸びが期待できる規模であることなどである。基準については1学年2学級以上が望ましいとした。
質問 日野小と延徳小の対応は。
答弁 保護者や地域の懇談でさまざまな意見を聴取するなかで、よりよい教育環境の整備を最優先に考えて進めていきたい。
質問 日野小と延徳小について早期の対応が必要ではないか。
答弁 基本方針改訂の協議とともに保護者や児童の意見を聴取し、市教育委員会と保護者の懇談の場を設け、将来の方向性を協議する。
質問 日野小では令和10年度に1学年5人、12年度には2人との推計が示されており、これは避けるべきと考ええるか。
答弁 複式学級に至るまでには若干の余裕があり、状況を示す中で地域の意見として要望をあげてほしい。

北公園の駐車場について

質問 北公園の現在の駐車台数は。
答弁 公園内には第8駐車場であり、合計台数は普通車で236台である。
質問 満車時の対応は。
答弁 体育施設の利用者に対し利用人数、観客数を事前に把握、予測し不足する場合は一本木公園など周辺駐車場に誘導するとともに、公園内通路を臨時駐車スペースにするなどの対応をしている。
質問 第8回国民スポーツ大会への対応はどうか。
答弁 公園内の駐車場は大会役員、報道、競技関係者、大型バスの転回場として使用する。一般の方は、市内公共施設、市有地に臨時駐車場を設けシャトルバスで輸送する計画である。
質問 駐車場を増設する考えは。
答弁 施設配置の見直しや段差解消を図るなどでスペースを確保し、国民スポーツ大会までに駐車台数を増やす整備を進めたい。
質問 中野市は信濃グランセローズのホームタウンだが、一般の駐車場がないため観客数は激減している。駐車場増設が必要では。
答弁 現状のキャパシティで観戦に来てもらえるような施策をとっていく。
 その他の質問
 ・ふれAータクシーについて

総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された専決処分報告1件、条例案12件、予算案4件、請願1件、陳情3件について、3月10日および11日に審査しました。

主なものとして、予算案では、令和7年度中野市一般会計予算について、予算総額27億9千400万円、議会費1億8千533万3千円、総務費（関係部分）27億2千293万4千円、消防費9億5千991万4千円、教育費25億1千668万3千円、公債費23億6千965万1千円、予備費5千万円となるもので、県内19市で初となる小中学校の学校給食費無償化事業、小中学校のタブレット端末購入費や岳南広域消防組合が行う庁舎建設に係る負担金等が計上されました。教育委員会所管部分では、学校給食センター新設統合に係る委託料1億円について、あまりにも短期間で総事業費約30億円の事業計画が進められており、一旦立ち止まって検討すべきとの考えから、当該1億円を削除する修正案が提出されました。審査の結果、修正案は賛成少数で否決。原案について賛成多数で可決されました。そのほか、専決処分の報告1件、条例案12件、予算案3件は、原案どおり承認および可決、請願1件は不採択、陳情1件は採択されました。

民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された条例案件、予算案件について、3月10日および11日に審査しました。

主なものとして、条例案では、中野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について、国が定めている家庭的保育事業等に関する基準が改正されたことに伴い、国の基準と同様に栄養士の配置基準について改めるもので、原案どおり可決されました。
 予算案では、令和7年度中野市一般会計予算について、総務費（関係部分）では、多目的サッカー場人工芝張替工事費の増額などで12億105万1千円、民生費では、保育園での3歳以上の子供への主食提供やお昼寝用コット導入、70歳以上の高齢者に交付しているシルバークイーンバニーの助成金額の拡大のほか、高齢者安心らいふエアコン補助金などで82億2千985万4千円、衛生費では、1か月児と1歳児の健康診査事業や令和7年度から定期接種化される帯状疱疹ワクチン接種事業などで14億8千307万円を計上するものであり、原案どおり可決されました。
 そのほか条例案2件、予算案5件につきましては、いずれも原案どおり可決されました。

経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された専決処分の報告1件、条例案3件、予算案9件、事件案6件、陳情2件について、3月10日および11日に審査しました。

主なものとして、条例案では、中野市下水道条例の一部を改正する条例案と中野市農業集落排水施設条例の一部を改正する条例案について、中野市水道事業運営審議会の答申を踏まえ、令和7年10月1日から下水道使用料と農業集落排水施設使用料を改めるため所要の改正を行うものであり、原案どおり可決されました。

予算案では、令和7年度一般会計予算について、農林水産業費では、農業王国発展加速化事業補助金の増額などで15億8千717万4千円、商工費では、道の駅「ふるさと豊田」の施設改修事業や市内企業等に就職して奨学金を返還する方への補助金などで23億5千261万9千円、土木費では、北信濃ふるさとの森文化公園へのグランピングテント設置などで33億6千401万2千円、労働費では7千170万5千円を計上するもので、原案どおり可決されました。

そのほか、専決処分の報告1件、条例案1件、予算案8件、事件6案件につきましては、原案どおり可決されました。

常任委員会市内視察

3月12日、各常任委員会において、市内関係箇所の視察を行いました。

総務文教委員会では、北部・南部学校給食センターを視察しました。

民生環境委員会では、経済建設委員会と合同で、使用済みキノコ培地の利活用を図る市内事業者の施設を視察しました。

経済建設委員会では、民生環境委員会との視察後、整備が進められる米山地区のため池を視察しました。



総務文教委員会



経済建設委員会



民生環境・経済建設委員会

本会議は、自由に傍聴いただくことができます。
市政を知る良い機会ですので、是非、お出かけください。
聴覚に障がいのある方には、手話通訳者を配置いたします。
ご希望の方は、ながの電子申請サービスまたは事前に議会事務局までご連絡をお願いいたします。
音声の聞き取りづらい方には、専用の音声受信機の貸出しをいたしますので、傍聴にお越しの際に、議会事務局までお申し出ください。

傍聴等に関するお問い合わせ先

電話 (22) 2 1 1 1 (内線316) F A X (22) 5 9 2 2

Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp



手話通訳申請
ながの電子申請サービス

市議会を
傍聴しませんか

意見書

〈可決された意見書〉

(関係行政庁に提出)

厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書

地方分権及び地方創生の進展とともに、加速する人口減少社会への対応が、我が国の将来にとって喫緊の政治課題となっている。地方公共団体の重要な意思決定を行う地方議会には、多様化する民意の集約と地方行政への反映が期待されており、その果たすべき役割と責任は重要性を増している。

このような状況の中、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民とのコミュニケーションを深めるとともに、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。

一方、多くの地方議会では、投票率の低下や無投票当選の増加、議員の性別や年齢構成の偏り、議員のなり手不足などの課題を抱えている。

地方議会議員が厚生年金に加入できるようなれば、会社員等が議員に転身しても切れ目なく厚生年金の適用を受けることができ、家族の将来や老後の生活を心配することなく議員に立候補し、議員活動を続けることができる環境が整うことになる。

多様で有為な人材の確保に大きく寄与すると考えられる。

2024年11月には、全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会が、地方議員の厚生年金への加入を求める決議をまとめた。女性や若者など多様な人材の議会への参画を進める環境整備を積極的に進め、議会への関心の低下や議員のなり手不足が深刻化している状況を打破するためにも、早急に検討すべき事項である。

よって、中野市議会は、国に対し、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における多様な人材確保の観点から、厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望するものである。

刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書

間違った裁判で有罪判決が確定した人が裁判をやり直す再審は、無実の人を救済する最後の手段である。しかし再審請求を始めてから無罪になるまでに何十年もの年月を要する実態がある。

傍田事件や福井女子中学生殺人事件でも、捜査機関が隠していた証拠が裁判のやり直しの決め手となっており、えん罪被害者を救済するためには、捜査機関等の手元にある証拠の開示が重要となる。しかしながら、そのことを定めた明文規定が存在せ

ず、再審手続において証拠開示がなされる制度的な保証はない。

また、再審開始決定が出されても、検察が不服申し立てをすることによって速やかに公判へ移行できない事例も相次いでおり、再審手続がさらに長期化し、えん罪被害者の救済が遅れる要因となっている。

現行の刑事訴訟法には、再審について具体的な審理の進め方、証拠の開示と開示など、基本的なルールが定められていない。そのため、裁判官によって審理の進め方や証拠の開示に大きな差異、いわゆる再審格差が生じ、審理が長期化している。再審請求の審理の進め方について、きちんとルールを定め、再審格差をなくす必要がある。

よって、中野市議会は、国に対し、えん罪被害者を速やかに救済するために、下記事項について特段の措置を講ずるよう強く要望するものである。

記

- 1 刑事訴訟法における再審手続について、証拠開示や証拠の適切な保存に関する規定を設けること。
- 2 再審手続における、検察官による不服申立ての在り方について検討すること。
- 3 再審における手続規定を整備すること。

請願

◎中野市学校給食センターの新設統合についての請願

請願者

学校給食を考える会(子育てを考える

市民の会 代表 今井多恵子

外3団体

陳情

◎2000年基準前の新耐震基準で建てられた木造住宅を加えた耐震化助成制度の創設拡充について

◎建築士事務所賠償責任保険への加入について

◎価格による入札方式における最低制限価格等の引上げと入札方式に偏らない方式における適正価格の設定について

◎業務報酬基準の準拠と業務内容の明確化について

陳情者

一般社団法人 長野県建築士事務所
所協会中高支部長 蟻川幸治

外1団体

◎えん罪被害者の速やかな救済を図るため、「刑事訴訟法の再審規定(再審法)」の改正を求める意見書の提出に関する陳情書

陳情者

日本国民救援会(長野県本部)中高支部
支部長 土屋信行

3月定例会の審議結果

議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
議案第1号	令和6年度中野市一般会計補正予算(第8号)の専決処分の報告について	承認	議案第24号	令和7年度中野市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第2号	中野市個人情報の保護に関する法律施行条例及び中野市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第25号	令和7年度中野市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決
議案第3号	中野市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第26号	令和7年度中野市介護保険事業特別会計予算	原案可決
議案第4号	中野市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第27号	令和7年度中野市後援会事業特別会計予算	原案可決
議案第5号	中野市一般職の職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第28号	令和7年度中野市永田財産区事業特別会計予算	原案可決
議案第6号	中野市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第29号	令和7年度中野市中野財産区事業特別会計予算	原案可決
議案第7号	中野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	原案可決	議案第30号	令和7年度中野市下水道事業会計予算	原案可決
議案第8号	中野市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第31号	令和7年度中野市水道事業会計予算	原案可決
議案第9号	中野市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例案	原案可決	議案第32号	財産(建物)の無償譲渡について	原案可決
議案第10号	中野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例及び中野市市税条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第33号	中野市豊田温泉公園の指定管理者の指定の変更について	原案可決
議案第11号	中野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第34号	中野市豊田温泉公園の指定管理者の指定について	原案可決
議案第12号	中野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第35号	中野市豊田ふるさと交流館ほか1施設の指定管理者の指定の変更について	原案可決
議案第13号	中野市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第36号	中野市豊田ふるさと交流館ほか1施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第14号	中野市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第37号	市営土地改良事業の施行について	原案可決
議案第15号	中野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第38号	令和6年度中野市一般会計補正予算(第10号)	原案可決
議案第16号	中野市公共物管理条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第39号	中野市副市長の選任の同意について	同意
議案第17号	中野市下水道条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第40号	中野市教育委員会委員の任命の同意について	同意
議案第18号	中野市農業集落排水施設条例の一部を改正する条例案	原案可決	議案第41号	中野市後援会管理委員の選任の同意について	同意
議案第19号	令和6年度中野市一般会計補正予算(第9号)	原案可決	議案第42号	中野市永田財産区管理委員の選任の同意について	同意
議案第20号	令和6年度中野市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	議案第43号	中野市中野財産区管理委員の選任の同意について	同意
議案第21号	令和6年度中野市下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
議案第22号	令和6年度中野市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	請願第1号	中野市学校給食センターの新設統合についての請願	不採択
議案第23号	令和7年度中野市一般会計予算	原案可決	陳情第5号	えん罪被害者の速やかな救済を図るため、「刑事訴訟法の再審規定(再審法)」の改正を求める意見書の提出に関する陳情書	採択
			議第1号	中野市議会議員の請負の状況の公表に関する条例案	可決
			議第2号	中野市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例案	可決
			議第3号	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書について	可決
			議第4号	刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書について	可決

賛否の分かれた議案

議案番号	件名	木村芳隆	渡辺菊男	土屋博	笠原豊	江口栄光	本田将伸	中村明文	中村秀人	塚田一夫	松樹純子	宮島包義	宇塚千晶	若澤孝幸	小林忠一	阿部光則	松野繁男	原澤年秋	高野良之	幸川吉孝	高木尚史
議案第11号	中野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	○	○	○	○
議案第17号	中野市下水道条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	○	○	○	○
議案第18号	中野市農業集落排水施設条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	○	○	○	○
議案第23号	令和7年度中野市一般会計予算(修正案)	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	議	×	○	○	×	×	×	○
	令和7年度中野市一般会計予算(原案)	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	議	○	×	×	○	○	○	×
議案第24号	令和7年度中野市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	○	○	○	○
議案第30号	令和7年度中野市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	○	○	○	○
請願第1号	中野市学校給食センターの新設統合についての請願	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	議	×	○	○	×	×	×	○

※ ○は賛成 ×は反対 △は退席 欠は欠席 ※ 議は議長(可否同数以外は表決に加わりません)

常任委員会懇談会

各常任委員会では、市内で活動されている団体等の方と懇談会を開催しました。

総務文教委員会は、2月6日に、中野市校長会と不登校対策などについて、民生環境委員会は、2月12日に、中野市介護支援専門員連絡会の方々と日ごろの取り組みや課題などについて、経済建設委員会は、1月16日にJ A中野市の経済専門委員の方々とJ A中野市の取り組みや生産者が抱える課題などについて意見交換を行いました。



総務文教委員会



経済建設委員会



民生環境委員会

1月臨時議会

○会期 1月24日 1日間

○議案件数および議決結果

予算案 1件 可決
 ・令和6年度中野市一般会計補正予算(第7号)

長野県市議会議長会総会

1月22日および23日の両日、諏訪市において第173回長野県市議会議長会総会が開催され、正副議長が出席しました。

総会では、退任された各市の正副議長への表彰状の伝達、会務報告の後、令和7年度歳入歳出予算および議長会として国・県へ提出する各市の要望事項について審議を行い、それぞれ可決され、その後、役員改選が行われました。

中野市・小布施町・山ノ内町議会議員研修会

2月13日、小布施町、山ノ内町および中野市議会の3市町合同の議員研修会が開催されました。

特定医療法人新生病院常務理事の荒木庸輔氏を講師に、「VUCAの時代に自由闊達で創造性に溢れた理想のコミュニティホスピタルをつくる」と題し、新生病院の取り組みなどについて講演をお聴きしました。

中野市議会議員研修会

2月5日、弁護士の帖佐直美(ちようさなおみ)氏を講師に「ハラスメント防止―自治体議員が注意すべきポイント」と題し、議会におけるハラスメントについて、法令や具体的な事例を交え、わかりやすく説明をいただきました。

選挙で選ばれた議員は、法令等を遵守することはもちろん、市民の模範となる行動が求められます。今回の研修を通じて、あらためて議員一人一人がハラスメントに対する認識を深めることができました。



中野市議会議員の請負の状況の公表に関する条例を制定

これまで地方公共団体の議会の議員が、その地方公共団体に対して請負することは全面的に禁止されていましたが、地方自治法の改正により、各会計年度において支払を受ける請負の対価の総額が300万円以下であれば、当該地方公共団体に対し、請負することが可能となりました。

中野市議会では、議員の請負の状況の透明性を確保し、議会の運営の公正と事務の執行の適正を図ることを目的に、本条例を制定しました。令和6年度の会計年度から適用します。

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。



中野市議会HP

表紙の写真

中野ひな市が開催されました

北信濃に春を呼ぶ「中野ひな市」が3月31日・4月1日の2日間、市街地において開催されました。

初日には、中野人形・立ヶ花人形の抽選販売をはじめ、夜には恒例の「大灯籠びな行進」が行われ、ライトアップされた灯籠びなの行進に、お客さんから歓声が上がっていました。

このほか全国の土人形を一堂に集めた全国土人形即売市、土人形絵付けコンテスト作品展示のほか、中野ひな市マルシェなどが行われ、大勢の方でにぎわいました。

(写真提供 中野市広報)



令和7年6月中野市議会定例会会期日程(予定)

- 開会日 6月5日(木曜日)
- 市政一般質問 6月12日(木曜日)
- 委員会 6月13日(金曜日)
- 閉会日 6月16日(月曜日)
- 請願・陳情について 6月17日(火曜日)
- 6月18日(水曜日)
- 6月20日(金曜日)
- 6月定例会における請願書および陳情書の受付は、5月15日(木曜日)の午後5時までです。
- ※他の行事等により日程を変更する場合があります。

第6代後期議会だより編集委員名簿

(順不同)

委員長	中村 明文
副委員長	塚田 一夫
委員	渡辺 菊男
	土屋 博
	江口 栄光
	本田 将伸
	松樹 純子
	小林 忠一
	阿部 光則
	高野 良之

あとがき

令和7年度が始まりました。進学や就職などで新たな生活をスタートさせた方も多いのではないのでしょうか。新たなステージに進んだ皆さんの活躍を応援したいと思います。

さて、市内小中学校では入学式が行われ、学校生活のスタートに緊張しながらも希望に満ちた表情をした子どもたちを見ることができました。一方で、新たに入学する児童の数は明らかに少なくなっているなど感じました。中野市でも人口減が進んでいることを実感します。人口の減少は、地域の経済活動の縮小を招きます。市民の皆さんから、色々とアイデアを出していただき、市民と行政が一体となって人口減対策を考えていきたいと思います。

ご意見・ご感想をお聞かせください

議会だよりをお読みになったのご感想や議会に対するご意見などがありましたら中野市議会までお願いします。



FAX(22)5922
EX-ルgikai@city.nakano.nagano.jp